

NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

第23回

# 全国の集い in はちのへ<sup>2017</sup>



かだるべし！創るべし！地域のくらし 日本の未来

子育てを頑張っている方、将来の介護に不安を感じている方、医療や介護に携わっている方…  
これからのくらしについて語り合しましょう！  
地域のみなさまの参加をお待ちしております



開催日

平成29年 **10月8日** 日 9:30～  
**10月9日** 月・祝 9:30～

大会長

はちのへファミリークリニック  
院長 **小倉 和也**



会場

八戸市公会堂・八戸市公民館  
八戸市文化教養センター南部会館  
八戸商工会館  
八戸ポータルミュージアム はっち

大会詳細情報はこちら>> <http://tsudo2017.com>

大会事務局：はちのへファミリークリニック 企画連携室  
〒031-0072 青森県八戸市城下4丁目11-11  
TEL:0178-72-3301 / FAX:0178-72-3300  
E-mail:renkei@hachifc.jp

主 催：特定非営利活動法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク  
共 催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団  
後 援：厚生労働省、青森県、八戸市など



## 開催概要

対象者：一般市民の方 医療・介護に従事している方など どなたでもご参加頂けます。

## プログラム

### 基調講演 シンポジウム

#### 「地域共生社会を目指して」

菅原 健介 (株式会社ぐるんとびー)  
野崎 伸一 (厚生労働省 政策統括官付社会保障担当参事官室 政策企画官)  
久保 敏隆 (青森県健康福祉部)

### 市民公開講座

(この講座は無料でご覧いただけます)

#### 「老衰に医療をどこまでするか」

石飛幸三 (社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団 世田谷区立特別養護老人ホーム芦花ホーム)

### パネルディスカッション

#### 「地域包括ケア実現のためにいま私たちがすべきこと」

大石佳能子 (株式会社メディヴァ)  
後藤 友子 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)  
川名理恵子 (横須賀市健康部地域医療推進課)  
清水 智子 (新潟市保健衛生部地域医療連携課)

当会が株式会社メディヴァに委託し地域包括ケアシステム実現のための市町村のとりくみを評価するプロジェクトの結果発表とそれを踏まえたパネルディスカッション

- 「多職種と市民で作る共生のまち」 市原利晃 (医療法人社団隆仁会秋田往診クリニック)
- 「食で支える共生社会」 五十嵐裕紀子 (二児の母・台湾在宅医療学会専属日中通訳)  
高橋瑞保 (山形県立中央病院)  
なぎさなおこ (フードクリニック ナギサカフェ)
- 「台湾と日本の在宅医療」 余尚儒 (台湾在宅医療学会)  
新田國夫 (医療法人社団つくし会新田クリニック)
- 「いきいきと生き幸せに逝くために」 東口高志 (学校法人藤田学園藤田保健衛生大学医学部外科・緩和医療学講座)
- 「認知症対策と教育システム」 遠藤英俊 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)
- 「在宅医療と教育」 雨森正記 (医療法人社団弓削メディカルクリニック)  
和田忠志 (医療法人社団実幸会いらはら診療所)
- 「高齢者虐待防止」 池田直樹 (日本高齢者虐待防止学会)  
安田真 (八戸地域虐待等困難事例ネットワーク研究会)
- 「在宅リハビリテーション栄養」 若林秀隆 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)
- 「病院と地域包括」 千田一嘉 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)  
今明秀 (八戸市立市民病院)
- 「小児在宅医療」 梶原厚子 (医療法人財団はるたか会あおぞら診療所新松戸)
- 「認知症と社会参加」 丹野智文 (おれんじドア)・山崎英樹 (青山会医療福祉グループ いずみの杜診療所)  
若生栄子 (公益社団法人認知症の人と家族の会)
- 「スポーツをする女子中高生の健康管理」 能瀬さやか (東京大学附属病院産婦人科)
- 「ナラティブセラピー」 田代順 (山梨英和大学)
- 「地域包括ケア実現にむけて」 桑原由次 (当会理事)・小倉和也 (はちのへファミリークリニック)
- 「地域連携で取り組む摂食・嚥下」 一瀬浩隆 (NPOから食べる幸せを守る会)
- 「想いをつなぎ支え合う 世代間交流の新たな取り組み」 小倉学 (八戸クリニック街かどミュージアム)
- 「医師・看護師・介護従事者のための虐待事例対応講座」 池田直樹 (日本高齢者虐待防止学会)  
和田忠志 (医療法人社団実幸会いらはら診療所)  
小橋孝介 (松戸市立病院小児医療センター)

★本大会は各認定単位を取得できます。

詳しくはホームページをご参照ください。 <http://tsudo2017.com>